

**福島第一原子力発電所2号機、3号機  
炉心スプレイ系ラインからの  
原子炉注水量の増加について**

平成23年9月16日  
東京電力株式会社



**東京電力**

---

# 炉注水ライン多様化の目的

## ステップ2の目標

放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられていること

### 《ミッション》

- 循環注水を継続し、圧力容器温度等を監視し、「冷温停止状態」に持ち込むこと

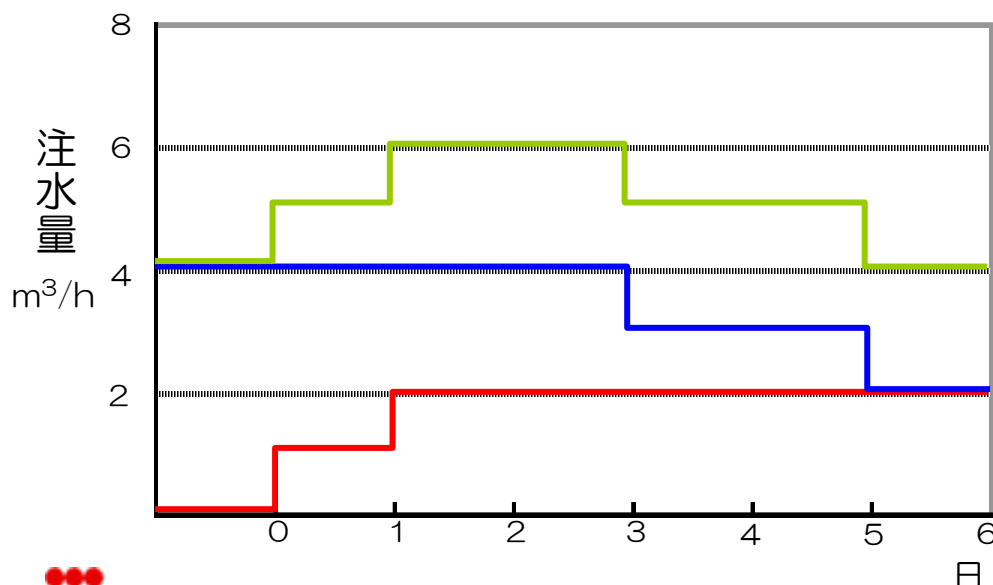
滞留水の処理についても順調に実施できており、注水を増加することで、より確実な原子炉の冷却を実施

炉心スプレイ系ラインからの注水量の増加

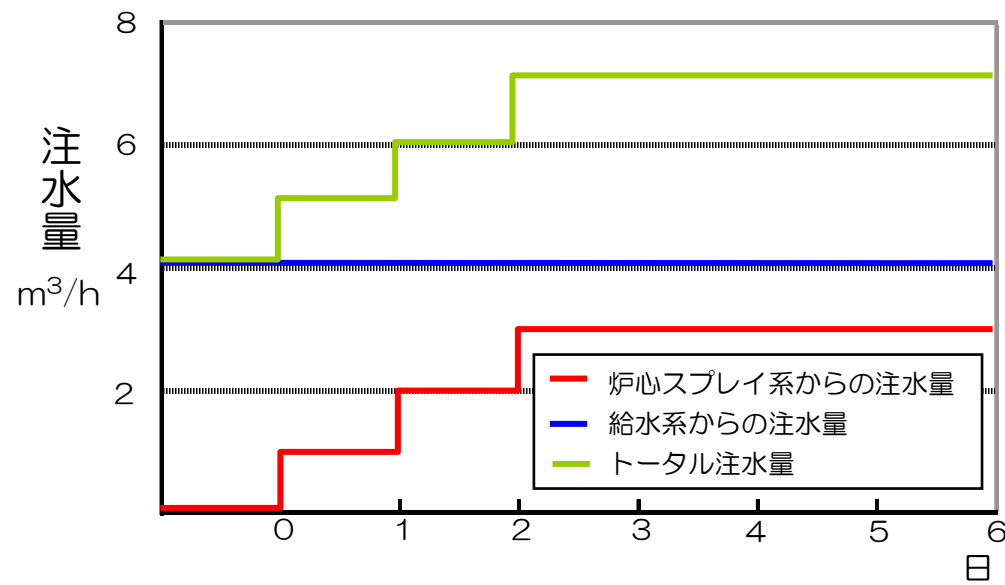
## 2号機の炉心スプレイ系による注水の現状、今後の予定

- 2号機については、9月14日から炉心スプレイ系からの注水を開始している。
- 給水を開始した後、原子炉圧力容器圧力の上昇が確認されているため、炉心スプレイ系からの注水は炉内に届いているものと推定。
- 原子炉圧力容器の温度は総じて一旦上昇したが、現在は緩やかな下降傾向。
- 炉心スプレイ系による注水の効果が確認できたことから、本日(9月16日)、炉心スプレイ系からの注水量を $3\text{m}^3/\text{h}$ に増加させ、保持する(給水系からの注水量は $4\text{m}^3/\text{h}$ で変更しない)。

注水量の推移 (計画変更前)



注水量の推移 (計画変更後)



## 3号機の炉心スプレイ系による注水の今後の予定

- 現在、3号機原子炉に対して、炉心スプレイ系から $3\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $4\text{m}^3/\text{h}$ の合計 $7\text{m}^3/\text{h}$ で注水している。
- 冷温停止状態に到達する注水量を確認するため、本日(9月16日)、炉心スプレイ系からの注水量を $8\text{m}^3/\text{h}$ まで増加させ(給水系からの注水量は $4\text{m}^3/\text{h}$ で変更しない)、合計 $12\text{m}^3/\text{h}$ とする。今後、原子炉圧力容器下部、上部の温度を継続して監視していく。
- なお、より確実に未臨界状態を維持するため、注水量変更開始前にホウ酸水を注入し、問題ないことを継続監視していく。

